

2006年 5月29日掲載

環八全通! / 記念イベント編

東京の幹線道路「環八」こと、環状8号線がこのたび全通した。未開通だった練馬区 板橋区の2区間4.4kmが開通し、羽田空港 岩淵町の総延長44.2kmが1つにつながったのだ。

私は、生まれてからずっと身近なところに環八があった。2度引っ越ししても、環八の近くに住んでいるのである。

5月28日の全線開通を前に、地元向けの完成披露イベントが行われるというので、散歩ついでに家族で参加することにした。開通後はまず不可能であろう、車道部分が歩けるというのだ。

イベント当日、天気もよく初夏の陽気。自宅から、徒歩で出かける。

今回のイベントは、同時に開通した練馬トンネル、北町若木トンネルの2区間で行われたが、我々が参加したのは練馬トンネルの方。歩いて数分の距離なのだ。

イベント会場の入口は2つあり、1つは練馬トンネルの本線出口、もう1つは練馬トンネルの緊急車両用入口。向かったのは、家にも近い緊急車両用入口である。

緊急車両用入口から一般人がトンネルに入ること自体、今後ははまずあり得ない。トンネル本線を歩くのと同じくらい、貴重な体験となるのだ。

トンネルに入ると、外からの熱気が遮断されて涼しい。近所とはいえ、初夏の日差しを浴びてほてった体には心地よい。

トンネル内の随所では、スタンプラリーが行われていたが、「参加者多数のため、スタンプラリーは終了します」との場内アナウンスが。イベント開始からわずか1時間半足らずで、予定数に達してしまったようだ。

緊急車両用入口からトンネルに入り、出口付近にあるメイン会場を目指す。自転車も通らない、純粹に歩行者しかいない道なので、我が息子を歩かせることにした。

今まで、こんな状況の道を歩いたことのない彼は大はしゃぎ。途中何人もの人にぶつかりそうになりながらも、出口までの約500mをほぼ歩

ききったのだ。

ところで、この練馬トンネルは半地下構造となっている。純粋なトンネルと違い、右側車線の天井が開いているのだ。

イベント会場でもらった資料によると、排気ガスを拡散させる機能と、騒音を低減させる機能を合わせ持つとのこと。当初は地上での建設で計画されていたので、環境に配慮して設計変更したのだろう。



また、トンネルで2車線、側道1車線で合計3車線分を確保。同じ道幅で、より多くの車両をスムーズに通すことができるようだ。

トンネルを出て、イベント会場に到着。しかし、目的でもあった白バイ撮影会は終了していた。

そこで、やむなく工事用車両での撮影会でお茶を濁すことに。どういうわけか、我が息子だけでなく、家族3人で写真に収まってしまったのだ。

その後、会場では苗木配布などが行われたようだが、昼時で腹が減ったので退散。近所でハンバーガーを食し、自宅に帰った。

イベントから1週間後、開通記念式典が開催。死ぬ前にもう一度生でオリンピックを見てみたいとしか思えない都知事も参加し、テープカットが行われた。

その模様はニュースでも取り上げられたとおりである。そしてその翌日、開通なのだ！

その模様は、[次回](#)に続く。

[\[トップページ\]](#)

2006年 5月31日掲載

環八全通！ / 通り初め編

[前回](#)に引き続き、環八全通記念特集をお送りする。

開通記念式典翌日の5月28日、ついにその日がやってきた！ この日の正午に開通するのだ。

近所に住む者にとって、やはり開通と同時に通り初めをしておきたい。そのため、仕事帰りに通り初めすることした。

この日は10時に仕事が終わるが、普通に帰ると30分で環八に着いてしまう。そのため、途中あちこち寄りながら、正午を待つことにしたのだ。

目指すは、今回開通する2区間のうち、完成披露イベントでも歩いて通った練馬トンネル。同時に使用開始となる、練馬中央陸橋の1つ手前の信号から、環八に入る作戦だ。

11:59、全くもって予定通りにその信号に到着。しかも、運よく赤信号で、正午の時報とともに青信号になった！

それと同時に、環八に進入。あわせて、環八で路肩に待機していた数台の車も動き出す。

時報から遅れること数十秒、ようやく練馬中央陸橋の入口にあったカラーコーンがどけられ、晴れて通行開始。路肩で待っていた数台を尻目に、何食わぬ顔で陸橋を登っていった。

400mの練馬中央陸橋を抜け、練馬トンネルへ。トンネルの入口には、開通を見届けようと多数の人たちが待ち受けていた。

いよいよトンネルに入る。が、至ってスローペースなのだ。

トンネル内の制限速度は60km/hで、メーターの表示は40km/h以下。どうも、先導しているパトカーが頭を押さえているらしい。

そのため、通常ならわずか1分ほどで通過できそうなトンネルが、今回は5分以上もかかってしまったのだ。まあ、これもある種の「ご祝儀」か?!

今度は井荻トンネルを通り、Uターン。実は、井荻トンネルと練馬トンネルは、外回りだけつながっているのである。

Uターンをしようとする、外回りが大渋滞。何と、標識の書き換え作業をしていたのだ。

標識というものは、新しい道路が開通する前に書き換えるのではなく、開通を見届けてから書き換えるらしい。その証拠に、別の道路の標識は、開通当日なのにまだ新区間が書かれていなかった。

再び井荻トンネルに入り、1.2km先の分流へ。ここを左に行けば笹目通り、右に行けば環八の練馬トンネルである。

分流では右に入り、再度練馬トンネルを通る。分流直後には、再度分流がある。

これは、練馬トンネル側道用の分流で、左が本線、右が側道。ただし、側道は一部未完成のため、本線を通る。

しばらく進むと、左側には緊急自動車用入口。1週間前の完成披露イベントで歩いたことを思い出す。

そう、もうこのトンネルは歩いて通ることができないのだ。そんな感慨にふけりながら、出口に到着した。

これで、通り初めは終了。今後は、頻繁に通る道になりそうだ。

[\[トップページ\]](#)